

(別紙2)

記載例

提出先・保管箇所：契約担当課  
確認者：工事担当課長・契約担当課長

令和〇〇年〇〇月〇〇日

契約締結日より前に提出してください。

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
契約担当役 〇〇新幹線建設局長 殿

役職のみ。氏名は不要です。

住所 横浜市中区〇 - 〇 - 〇

商号又は名称 〇〇株式会社

代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

押印

建設リサイクル法第13条に基づく契約書記載事項について

下記工事について、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第13条に基づき契約書に記載する事項について記載した書面を別紙のとおり提出します。

記

1. 工事名 〇〇新幹線、〇〇トンネル
2. 添付資料 別紙（解体工事に要する費用等）

※ 別紙の□欄は、該当箇所に「レ」を付すか、「■」とすること。

(別紙)解体工事に要する費用等

1. 分別解体等の方法

□建築物に係る解体工事

工程	工程	作業内容	分別解体等の方法(※)
工程ごとの作業内容及び解体方法	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由( )
	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由( )
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤その他	その他の取り壊し □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

□建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

工程	工程	作業内容	分別解体等の方法(※)
工程ごとの作業内容及び解体方法	①造成等	造成等の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④屋根	屋根の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他( )	その他の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

■建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

工程	工程	作業内容	分別解体等の方法(※)
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工 ■有 □無	■手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他( )	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

(※)「分別解体等の方法」は、該当がない場合は記載の必要はない。

いずれか該当するものにチェック

作業内容欄が「無」の場合、分別解体等の方法欄は記入しない。

2. 解体工事に要する費用(直接工事費) なし 円(税抜き)

(注)・解体工事の場合のみ記載する。  
・解体工事に伴う分別解体及び積み込みに要する費用とする。  
・仮設費及び運搬費は含まない。

解体工事以外の場合は「なし」と記載する。

3. 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート塊	〇〇興業(株)	〇〇県〇〇市〇-〇-〇
建設発生木材	〇〇チップ工業(株)	〇〇県〇〇市〇-〇-〇
建設発生木材	(株)〇〇プラント	〇〇県〇〇市〇-〇-〇
アスファルト・コンクリート塊	〇〇工業(株)	〇〇県〇〇市〇-〇-〇

4. 再資源化等に要する費用(直接工事費) 〇〇〇,〇〇〇 円(税抜き)

(注)・運搬費を含む。

特定建設資材廃棄物の「コンクリート塊」「アスファルト・コンクリート塊」「建設発生木材」のうち、当該工事で発生する廃棄物を記載する。

3に記入した特定建設資材廃棄物の再資源化に要する費用(工事全体の総額)を記入する。